

〈講義①〉 相談支援の展開

〈『自立相談支援事業従事者養成テキスト』第4章第1節（pp.106-144）〉

●ポイント

- ・相談援助を構造的にとらえる
- ・課題解決の「主体」を問い直す

1. 把握・アウトリーチ

- (1) 早期把握・早期発見の重要性
- (2) 生活困窮者の実態等の把握
- (3) 対象把握・アウトリーチの基本的考え方
- (4) 把握・アウトリーチの方法

2. 包括的な相談受付

- (1) 相談受付のポイント
- (2) 相談内容による適切な振り分け
- (3) 相談支援を拒否する場合の対応
- (4) 利用申込
- (5) 緊急的な支援の提供

3. アセスメント

- (1) 基本的な考え方
- (2) アセスメントの方法

4. プランの作成

- (1) 基本的な考え方
- (2) プラン策定に必要な手続き
- (3) プラン策定の実際
- (4) プランシートへの記載
- (5) 支援調整会議の開催
- (6) 自治体による支援決定

5. 支援の実施

- (1) 概観
- (2) 自立相談支援機関による支援
- (3) チームによる支援
- (4) 支援経過の記録

6. モニタリング

- (1) 基本的な考え方
- (2) モニタリングの時期
- (3) モニタリングの方法と場面
- (4) モニタリングの記録
- (5) プランの修正と支援の中断

7. プラン評価・再プラン・終結

- (1) プランの評価
- (2) 支援調整会議における評価と記録
- (3) 再プランの作成
- (4) 終結
- (5) 終結後のフォロー

〈講義②〉 個別支援から地域支援への展開

〈『自立相談支援事業従事者養成テキスト』第4章第2・3・4節（pp.145-183）〉

●ポイント

- ・本人を主体として課題を解決する方法を学ぶ
- ・「一つの事例が地域を変える」という実践を理解する

[1] 個別的・継続的な相談支援

1. 本人との援助関係の構築

- (1) 信頼関係の構築に向けて
- (2) 援助関係を活かした支援

2. 本人の力を引き出す支援

- (1) 本人の気づきを促す
- (2) 本人の力を活かした支援
- (3) 本人が決めるプロセスを支える

3. 相談面接の意義と目的

- (1) 相談面接の意義
- (2) 相談面接の三つの目的

4. 相談面接の方法

- (1) 相談面接の形態
- (2) 相談面接に必要な環境づくり

5. 相談面接技術

- (1) コミュニケーションの基本特性
- (2) 相談面接技術 –21の技法–

[2] 環境への働きかけとネットワークを活用した支援

1. 本人を取り巻く環境への働きかけ

- (1) 基本的な視点
- (2) 家族支援

2. ネットワークの活用と連携・協働

- (1) 地域を基盤としたネットワークとの連携・協働
- (2) 「ネットワーク」がもつ特性
- (3) 「ネットワーク」に関する概念整理

[3] 個と地域の一体的支援

1. 地域を基盤とした相談支援

- (1) 地域を基盤とした相談支援への転換
- (2) 「総合相談」をめぐる動向と背景
- (3) 地域を基盤とした相談支援の理念
- (4) 個と地域の一体的支援
- (5) 個別支援から地域支援、そして地域づくりの推進へ

2. 予防的支援の展開

- (1) 地域を基盤とした相談支援と予防的支援
- (2) 予防的支援のための取組み

〈講義③〉 帳票類の意義と活用方法

1. 公的サービスをめぐる潮流

- (1) 問われる説明責任＝評価される対象
- (2) 評価と連動する予算の確保
- (3) 個人情報保護と本人同意

2. 帳票類の活用と実践上の特質

- (1) 法に基づく実践の遂行
- (2) 実践を「目に見える形」として残すこと
- (3) 実践を方向づけること
- (4) 「枠」がもつリスクと「業務負担」について

3. 帳票類の積極的活用に向けて

- (1) 誰が「主」なのか
- (2) 「アセスメント結果の整理と支援方針の検討」の項目の重要性

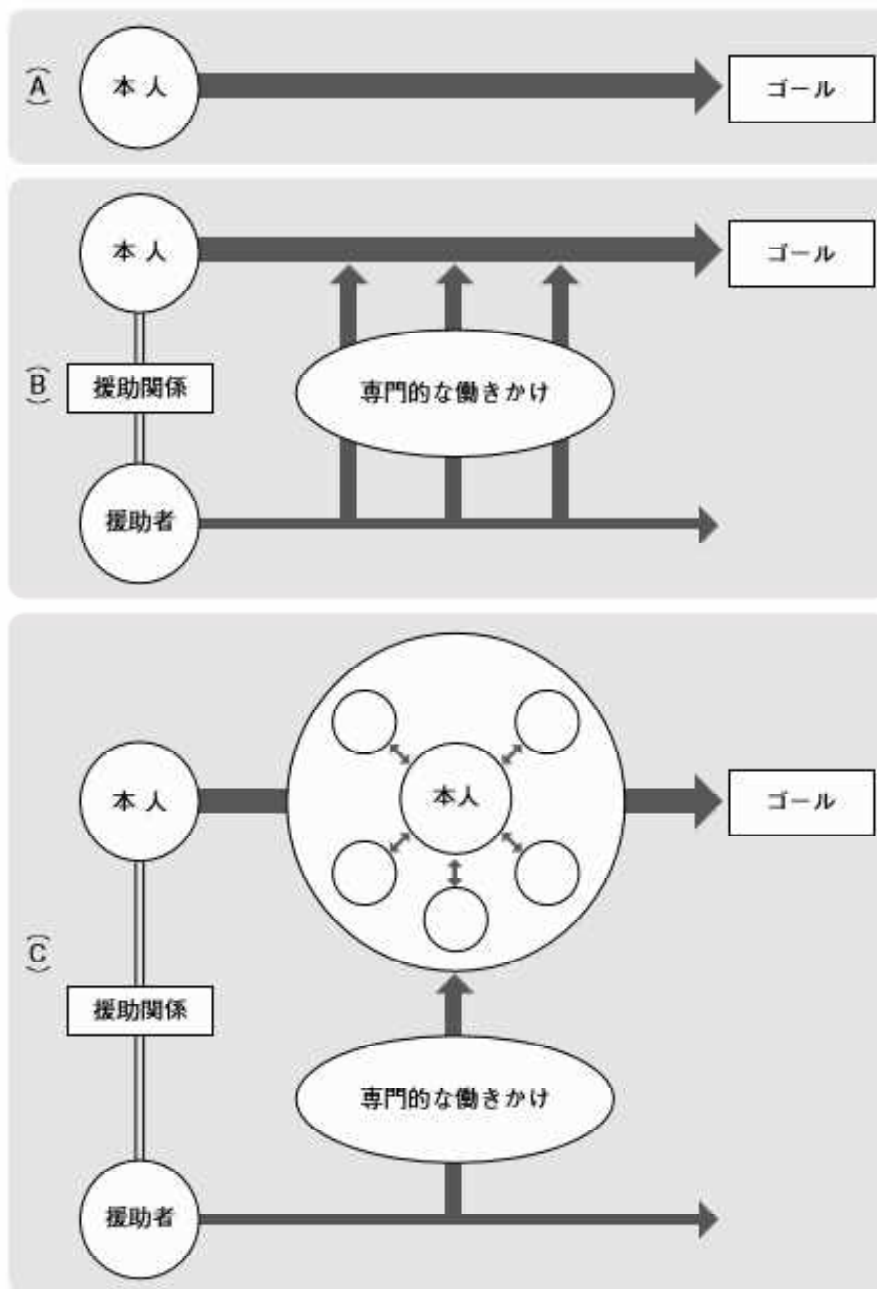


図 本人主体の「援助過程」の概念図

出所：岩間伸之『支援困難事例と向き合う－18事例から学ぶ援助の視点と方法－』
中央法規出版, 2014年, p. 158。

(事例シート1)

82歳の母親（Aさん）と54歳の息子（Bさん）は、持ち家で二人暮らしである。

Aさんは足腰が弱り、一人でトイレに行くこともままならない状態にある。ゴミ捨てや買い物に出かけるAさんの姿を見かけなくなったことを心配した近所の人Aさん宅を訪れた際、そのことを知って民生委員に連絡した。

民生委員が訪問すると、「私のことはほっておいて。とにかく息子のことが一番心配なの。息子のために一日でも長く生きていくしか方法がない」と涙ぐむ姿を見せた。以前は、近隣住民とのつきあいがあったが、今ではほとんどない。庭木の手入れもできず、うっそうとしている。

息子のBさんは、以前は板前をしていたが、2年半前にリストラされて実家に戻った。現在、収入はない。最近では再就職に向けた活動もまったくしておらず、Aさんの厚生年金で生活している様子で、朝からお酒を飲んでいることも多い。近所の人と会うことを避け、たまに会ったときに声をかけると、にらみつけられるので、みんな怖がっている状態である。また、Bさんが野良猫に残飯を与えるので、猫がたくさん集まってきて、近隣からは苦情が出ている。

民生委員から自立相談支援機関に連絡が入り、この世帯へのかかわりが始まった。

(事例シート2)

自立相談支援機関の相談支援員は、民生委員と一緒にAさん宅を初回訪問し、その後5回訪問した。Aさんは1階で、Bさんは2階で暮らしているようだった。1階は窓を閉め切って薄暗く、物が散乱している様子であるが、Aさんはそれなりに清潔な身なりをしている。Aさんは相談支援員に「部屋が散らかっていてごめんなさい」と話した。

この間の訪問のなかで、Aさんは少しずつ息子のBさんのことについて話し始めた。Bさんが実家に戻ったのはリストラされたことだけでなく、高齢のため一人暮らしがおぼつかなくなった母親を心配してのこともあること。Bさんは食事や買い物など母親の生活に気遣いをみせてくれているが、仕事探しがうまくいかず、だんだん気持ちがすさんできて、最近は飲酒の量も増えてきたこと。亡くなったAさんの夫がアルコール依存症で、暴力をふるうこともあったことから、Bさんはずっと父親に反発してきたが、結局、息子も同じ様になってしまうのではないかとAさんは心配していることなどが明らかになった。

ある日の訪問の際、買い物に出ていたBさんが帰宅してきた。Bさんは、母親に会いに来る相談支援員のことを気にしていたようで、Aさんの部屋をのぞき、「母がお世話になっています」と頭を下げた。Bさんは、無精ひげが伸び、顔色もすぐれない。ジャージ姿で、体格がいいこともあり、人に威圧感を与える印象がある。しかし、Aさんに「昼のおかず、テーブルの上に置いておくから」と声をかける表情は穏やかで、親子が互いに思いやっている様子もうかがえる。

相談支援員が、Bさんにお会いできてうれしいことを伝え、またお会いして話がしたいと言うと、最初は「僕の話は結構ですから」と拒否された。しかし再度、お母さんのことも心配だし、いろいろと話をしながらできることを一緒に考えたいと伝えると、「来てもいいけど、僕は役所とかの人は信じられないんだ。前に相談に行ったんだけど、いやな思いをしたからね」と強い口調で話した。

(事例シート 3)

初回訪問から約半年後、Aさんが玄関先で転倒し、左手首を骨折した。この間、相談支援員は2週間に1回の頻度で訪問し、主にAさんと面談してきた。その過程では、Bさんを交えて面談する機会も何度か得ることができた。

Aさんの骨折を機に、Aさんには地域包括支援センターのスタッフが主にかかわることになり、Bさんには相談支援員が対応することになった。それ以来、Bさんと世帯の今後について個別に話を進めることになった。

家庭訪問による面談をとおして得られた情報は、次のとおりである。

- AさんのADLはかなり低下している。特に、膝に痛みがあり、掃除や洗濯等の家事も相当厳しくなっている。息子のBさんは、Aさんの食事の世話はしているが、その他の家事については、自分の分しかしていない。
- Bさんには収入がないことから、Aさんから食費を預かって、自分と母親の分の食材を購入している。以前、板前をしていたことから調理はできるはずであるが、最近ではコンビニでお弁当を買うことがほとんどである。その食費から自分が飲むお酒も買っている。
- Bさんが就職活動をまったくしなくなり、家にひきこもりがちになってから約1年が経過する。母親以外と接することはほとんどない。「面接でなんども落とされてもういやになった。料理人以外の仕事もしようと思ったがこの年齢になるともう仕事はないよ」と話す。
- Bさんに「役所でのいやな思い」について尋ねると、「働いていないことについて、上から目線でバカにされた。詳しくは言いたくない」と話す。
- 「母親のことも心配だし、仕事のことこのままではいけないんだろうけど、もう何も考えたくない。お酒を飲むと気が紛れるんだ」とBさんは話す。実際、毎日ではないようだが朝から焼酎を飲んでいることが多い。
- 今後、相談支援員が定期的に訪問することについては、拒否はしないものの、「来ても何も変わらないよ。もうどうだっていいんだ」と繰り返す。

厚生労働省 平成 26 年度セーフティネット支援対策等事業(社会福祉推進事業)



自立相談支援事業における
使用標準様式の実用化に向けた
調査研究 **報告書**

平成 27 年 3 月

みずほ情報総研株式会社

(3) 相談支援に係る帳票類標準様式活用の意義について

- 本調査研究では、自立相談支援機関において標準的に使用することとなるアセスメントシート・プランシート等帳票類の標準様式を開発した。
- 相談支援の展開において、帳票類を活用する意義、またそれら帳票類を標準化する意義は下記のように整理される。

帳票類標準様式を活用する意義

1. 法に基づく相談支援機関として適切に判断し必要な手続きを実施するために

自立相談支援機関は生活困窮者自立支援法に基づく機関であり、その相談支援の実施については自立相談支援機関が対象とすべきケースかを適切に判断し、支援実績や継続支援の判断状況について自治体に適宜報告し、支援決定等を得る必要がある。この判断や手続きを適切に遂行することを補助するツールとして帳票類標準様式を活用する。

2. 相談支援の質の確保、向上のために

相談支援員の経験や知識にばらつきがある場合であっても、自立相談支援機関における相談支援の質が一定レベル以上のものとなるように、帳票類標準様式を活用する。標準様式では、相談支援にあたって必要とされるアセスメントの視点や支援方針の検討時に考慮すべき事項の基本的要素を、相談支援のプロセスに沿って示している。

なお、標準様式の使用を基本としつつも、追加的に視点・項目、あるいは様式を加えてアセスメントをより深めたり、支援方針の検討を詳細に行っていくことは、各機関の工夫によって実施されることも考えられ、相談支援の質を高める観点においても推奨される。

3. チームアプローチを支える情報共有の手段として

生活困窮者支援は、支援を要する本人が抱える課題が多岐に及ぶ場合が少なくないため、相談支援については、多様な専門性や観点を持つ支援者が関わるチームアプローチとして展開することが重要である。これは、自立相談支援機関内での相談支援員同士や就労支援員との協働、あるいは他機関・団体との連携等、さまざまな場面で必要になる。このチームアプローチを支える情報基盤として、ケース情報や支援状況について情報共有できる仕組みが必要であり、そのためにはケース情報を記録する様式である帳票類についても標準化したものを活用することが求められる。

4. ケースデータを蓄積して支援対象者の状態像や支援実績、支援による効果を把握するために

自立相談支援機関は、公費を用いて運営する機関として、どのような対象者に対してどのような支援を実施しているか、支援の実績はどうか、また、支援による効果はどのようにみられているか等について把握し、対外的に説明する責任(アカウンタビリティ)を持つ。この説明責任を果たすにあたって基礎的なデータを把握するために、標準様式を用いて自立相談支援機関が支援するケースに関わるデータを蓄積することが求められる。また、蓄積したデータを分析することで、支援対象者の状態像や特徴をあきらかにして自立相談支援機関の体制の見直しやノウハウの開発に生かしたり、生活困窮者に関わる施策の検討に生かすことも可能になる。

基本帳票類

相談支援プロセスの流れの中で活用する基本帳票類
(※：基本的に必ず入力求められる項目)

【1】相談受付・申込票【本人等記入→スタッフが追加聞き取り】

〈紙で使用→基本情報等はDB入力、利用申込書として紙で保管〉 ※必須

相談受付・申込票

ID		※初回相談 受付日	平成 年 月 日	受付者	
----	--	--------------	----------	-----	--

■基本情報

ふりがな		※性別	□男性 □女性 □()		
氏名		※生年月日	□大正 □昭和 □平成 年 月 日 (歳)		
住所	〒 -				
電話	自宅	() -	携帯	() -	
メール					
来談者 *ご本人 以外の場合	氏名		来談者の ご本人と の関係	□家族(本人との続柄:) □その他()	
	電話	() -			

■ご相談内容

ご相談されたい内容に○をおつけください。複数ある場合は、一番お困りのことに◎をおつけください。

<input type="checkbox"/>	病気や健康、障害のこと	<input type="checkbox"/>	住まいについて	<input type="checkbox"/>	収入・生活費のこと
<input type="checkbox"/>	家賃やローンの支払いのこと	<input type="checkbox"/>	税金や公共料金等の支払いについて	<input type="checkbox"/>	債務について
<input type="checkbox"/>	仕事探し、就職について	<input type="checkbox"/>	仕事上の不安やトラブル	<input type="checkbox"/>	地域との関係について
<input type="checkbox"/>	家族との関係について	<input type="checkbox"/>	子育てのこと	<input type="checkbox"/>	介護のこと
<input type="checkbox"/>	ひきこもり・不登校	<input type="checkbox"/>	DV・虐待	<input type="checkbox"/>	食べるものがない
<input type="checkbox"/>	その他()				

ご相談されたいことや配慮を希望されることを具体的に書いてください。

■相談申込み欄

〇〇様

上記の相談内容等について、自立・家計相談支援の利用を申し込みます。
また、相談支援にあたり必要となる関係機関（者）と情報共有することに同意します。なお、同意にあたっては、別紙の「個人情報に関する管理・取扱規程」について説明を受けました。

平成____年____月____日 本人署名_____ 印_____

【2】 インテーク・アセスメントシート【スタッフ使用】

<DB 入力(付随シート以外)>

インテーク・アセスメントシート

ID		氏名		最終更新日	平成	年	月	日
----	--	----	--	-------	----	---	---	---

サブ区分 フラグ		関連ID		備考	
-------------	--	------	--	----	--

■ 相談経路・相談歴

※当初 相談経路	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 本人自ら連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(来所)	<input type="checkbox"/> 家族・知人から連絡(電話・メール)
	<input type="checkbox"/> 自立相談支援機関がアウトリーチして勧めた	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・関係者からの紹介(関係機関・関係者名: _____)	
<input type="checkbox"/> その他(_____)		
これまでの相談歴の有無(本人や家族に過去にどこかの機関への相談経験があるかを確認)		
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
相談歴の概況／相談経緯(誰が、どこに、どのような相談をしたか、その結果がどうであったかを記載)		

■ 本人の主訴・状況

本人の 訴えや 状況 (生活歴 を含む)	
----------------------------------	--

【2】 インテーク・アセスメントシート【スタッフ使用】
 <DB 入力(付随シート以外)>

■ 本人の主訴・状況(続き)

(1) 家族・地域関係・住まい

※同居者	<input type="checkbox"/> 有(自分を含んで_____人) <input type="checkbox"/> 無	別居の家族	<input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無
※婚姻	<input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 既婚 <input type="checkbox"/> 離別 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> その他(_____)	※子ども	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(_____人 →扶養 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)
家族の状況 (子どもを含む)			
住居	<input type="checkbox"/> 持家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> 賃貸アパート・マンション <input type="checkbox"/> 公営住宅 <input type="checkbox"/> 会社の寮・借り上げ住宅 <input type="checkbox"/> 野宿 <input type="checkbox"/> その他(_____)	地域との関係	
特記事項			

(2) 健康・障害

※健康状態	<input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 良くない/通院している <input type="checkbox"/> 良くないが通院していない	通院先/ 服薬・診 断・症状等	
健康保険	<input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input type="checkbox"/> 健康保険(国保以外) <input type="checkbox"/> 加入していない	障害 手帳等	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有→ <input type="checkbox"/> 身体(_____級) <input type="checkbox"/> 知的(療育)(_____) <input type="checkbox"/> 精神(_____級) ----- 自立支援医療 <input type="checkbox"/> 利用 <input type="checkbox"/> 利用せず
特記事項			

(3) 収入・公的給付・債務等

家計の 収支 状況	世帯として 月々入ってくるお金 (月額 _____ 円) 月々出ていくお金 (月額 _____ 円)	家計 状況	
課税 状況	<input type="checkbox"/> 住民税非課税世帯である <input type="checkbox"/> 住民税非課税世帯ではない	滞納 債務	<input type="checkbox"/> 滞納あり <input type="checkbox"/> 滞納なし <input type="checkbox"/> 債務あり <input type="checkbox"/> 債務なし
公的 給付 (受給中)	<input type="checkbox"/> 雇用保険 <input type="checkbox"/> 老齢年金・遺族年金 <input type="checkbox"/> 障害者年金 <input type="checkbox"/> 特別障害者手当 <input type="checkbox"/> 児童手当 <input type="checkbox"/> 児童扶養手当 <input type="checkbox"/> 特別児童扶養手当 <input type="checkbox"/> 住居確保給付金 <input type="checkbox"/> その他(_____)	生活 保護	
特記 事項			

【2】 インテーク・アセスメントシート【スタッフ使用】
〈DB 入力(付随シート以外)〉

(4) 職業・職歴等

① 概況

※就労状況	<input type="checkbox"/> 就労している <input type="checkbox"/> 就労しているが、転職先を探したい/探している <input type="checkbox"/> 今後、就労予定(就労先決定済み) <input type="checkbox"/> 仕事を探したい/探している(現在無職) <input type="checkbox"/> 仕事をしていない(仕事を探していない)	最終 学歴等	<input type="checkbox"/> 中学(高校未入学) <input type="checkbox"/> 中学(高校中退) <input type="checkbox"/> 高校(大学中退を含む) <input type="checkbox"/> 特別支援学校(学級を含む) <input type="checkbox"/> 専門学校・専修学校・各種学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 短大 <input type="checkbox"/> 大学・大学院 <input type="checkbox"/> その他 ----- → <input type="checkbox"/> 現在、就学中
※直近の離職後年数	<input type="checkbox"/> 6 ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 6 ヶ月以上～1 年未満 <input type="checkbox"/> 1 年以上～2 年未満 <input type="checkbox"/> 2 年以上 <input type="checkbox"/> 仕事をしたことがない	資格・ 技術	<input type="checkbox"/> 自動車免許 <input type="checkbox"/> その他資格・技術 ()
希望 職種等			

②現在の職業

職業	業務内容		雇用形態
勤務年数	※月収	賞与の有無・回数等	賞与(年間)
年 カ月	万円		万円

③過去の職歴 ※現在に近い順に上から記載

勤務期間	雇用形態	月収	職業・業務内容
年 月～ 年 月		万円	
年 月～ 年 月		万円	
年 月～ 年 月		万円	

④職業・職歴等の特記事項

--

(5) その他の特記事項

--

■緊急支援

※緊急支援の必要性		
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(具体的な状況:)		
※緊急支援の内容		
<input type="checkbox"/> 住居確保給付金	<申込日> 平成_____年_____月_____日	
	給付期間 _____年_____月～_____年_____月 _____カ月	給付額_____円/月
<input type="checkbox"/> 一時生活支援事業	<申込日> 平成_____年_____月_____日	
	支援期間 _____年_____月_____日 ～ _____年_____月_____日	
その他緊急支援の実施状況		

【2】 インテーク・アセスメントシート【スタッフ使用】
 <DB 入力(付随シート以外)>

■アセスメント結果の整理と支援方針の検討

課題と背景 要因	
※課題のまとめと支援の方向性 (300 字以内で整理)	
※チェック項目	<input type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> けが <input type="checkbox"/> 障害(手帳有) <input type="checkbox"/> 障害(疑い) <input type="checkbox"/> 自死企図 <input type="checkbox"/> その他メンタルヘルスの課題(うつ・不眠・不安・依存症・適応障害など) <input type="checkbox"/> 住まい不安定 <input type="checkbox"/> ホームレス <input type="checkbox"/> 経済的困窮 <input type="checkbox"/> (多重・過重)債務 <input type="checkbox"/> 家計管理の課題 <input type="checkbox"/> 就職活動困難 <input type="checkbox"/> 就職定着困難 <input type="checkbox"/> 生活習慣の乱れ <input type="checkbox"/> 社会的孤立(ニート・ひきこもりなどを含む) <input type="checkbox"/> 家族関係・家族の問題 <input type="checkbox"/> 不登校 <input type="checkbox"/> 非行 <input type="checkbox"/> 中卒・高校中退 <input type="checkbox"/> ひとり親 <input type="checkbox"/> DV・虐待 <input type="checkbox"/> 外国籍 <input type="checkbox"/> 刑余者 <input type="checkbox"/> コミュニケーションが苦手 <input type="checkbox"/> 本人の能力の課題(識字・言語・理解等) <input type="checkbox"/> 被災 <input type="checkbox"/> その他()

■スクリーニング

※スクリーニング実施日	平成 年 月 日
※対応結果・方針	<input type="checkbox"/> 1. 情報提供や相談対応のみで終了 <input type="checkbox"/> 2. 他の制度や専門機関で対応が可能であり、つなぐ (必要に応じて、事前連絡や同行支援を実施し、結果をフォローアップする) (→つなぎ先の制度・専門機関:) <input type="checkbox"/> 3. 現時点では本人同意はとれていないが、引き続き同意に向けて取り組む <input type="checkbox"/> 4. 自立相談支援機関が継続支援し、プランを策定する <input type="checkbox"/> 5. スクリーニング判断前に中断・終了(連絡がとれない/転居等)
特記事項	

対応重要度	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
-------	---

【2】 インテーク・アセスメントシート【スタッフ使用】
〈DB 入力(付随シート以外)〉

【2】付随シート(紙での使用)

ID		氏名	
----	--	----	--

■家族関係図

家族関係図(□=男性、○=女性)	支援経過における変化

■エコマップ(地域や周囲との関係性)

エコマップ	支援経過における変化

【3】支援経過記録シート【スタッフ使用】
 <DB 入力→一覧で出力>

支援経過記録シート（入力用）

ID		氏名	
----	--	----	--

実施日	平成 年 月 日	担当者	
方法	<input type="checkbox"/> 電話相談・連絡 <input type="checkbox"/> 訪問・同行支援 <input type="checkbox"/> 面談 <input type="checkbox"/> 所内会議 <input type="checkbox"/> 支援調整会議(プラン策定) <input type="checkbox"/> 支援調整会議(評価実施) <input type="checkbox"/> その他他機関との会議(支援調整会議以外) <input type="checkbox"/> 他機関との電話照会・協議 <input type="checkbox"/> その他()		
対応相手先	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族() <input type="checkbox"/> 関係機関 <input type="checkbox"/> その他		
関与した関係機関・関係者等			

対応内容記録(200字以内)
詳細記録(聞き取り事項・確認した事実、対応状況等)
支援員コメント

【3】支援経過記録シート【スタッフ使用】
 <DB 入力→一覧で出力>

支援経過記録シート（出力用：経過一覧）

ID		氏名	
----	--	----	--

実施日	担当者	方法	対応相手先	関与した関係機 関・関係者等	対応内容記録
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					
平成 年 月 日					

【4】支援ケース一覧【ケース概況の一覧表として出力、支援調整会議等で活用】
 <自動出力>

支援ケース一覧

- 【データ抽出条件】
- ・サブ区分フラグ
 - ・対応重要度
 - ・対応結果・方針(スクリーニング結果)
 - ・支援決定/確認
 - ・プラン終了予定日
 - ・担当者(支援経過記録シート最新記録から)
- 【初回相談受付月】
- ・スクリーニング実施月
 - ・支援決定・確認実施月
 - ・次回モニタリング予定月
 - ・評価決定月

自立相談支援機関名	報告日	平成	年	月	日	抽出条件
						<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年10月受付 ・対応重要度A/B

初回相談受付日	ID	氏名	性別	年齢	住所	ステータス	プラン回数	対応重要度	対応結果・方針	基礎情報出力	課題と背景要因	課題のまとめと支援の方向性	インテーク・アセスメントシートから		プラン兼事業等利用申込書から		評価シートから	担当者		
													自動判定	法に基づく事業・その他の関連事業等	支援決定・確認日	プラン終了予定時期			モニタリング予定時期	プランの最終継続に関する本人希望・スタッフ意見
平成 年 月 日										<ul style="list-style-type: none"> ・同居者有無 ・子ども有無 ・婚姻状況 ・就労状況 ・本人収入有無 ・チェック項目 										
平成 年 月 日																				
平成 年 月 日																				
平成 年 月 日																				

【ステータス】

同意前/スクリーニング前/プラン策定へ/プラン実施中/最終/中断

【対応重要度】

A/B/C/D

【対応結果・方針(スクリーニング結果)】

1(情報提供・相談のみ)/2(他制度・機関につなぐ)/3(同意に向け取り組み)/4(プラン策定へ)/5(中断・終了)

【5】プラン兼事業等利用申込書【本人とスタッフが協働で作成→支援調整会議で検討→自治体による支援決定】※必須 <DB 入力→出力>

プラン兼事業等利用申込書

ID		プラン作成日	平成 年 月 日
※作成回	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 再プラン()回目	プラン作成担当者	

ふりがな		性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> ()
氏名		生年月日	<input type="checkbox"/> 大正 年 <input type="checkbox"/> 昭和 月 <input type="checkbox"/> 平成 日 (歳)

■解決したい課題

■目標(目指す姿)※ <本人が設定>

長期目標	本プランにおける達成目標

■プラン※ <法に基づく事業等だけでなく、自立相談支援機関や関係機関等が行うことや、本人が行うことも含めて記入>

実施すること (本人・家族等・自立相談支援機関・その他関係機関)	備考(関係機関・期間・頻度など)	法に基づく 事業等 (該当時○)

【5】プラン兼事業等利用申込書【本人とスタッフが協働で作成→支援調整会議で検討→自治体による支援決定】※必須 <DB 入力→出力>

■法に基づく事業等※

メニュー		利用有無	支援方針(期間・実施機関・給付額等)
1	住居確保給付金	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	支給期間 ____年__月__日～____年__月__日 給付額 ____円/月 <input type="checkbox"/> 申込中 <input type="checkbox"/> 既受給 <input type="checkbox"/> 申込予定 備考()
2	一時生活支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	支援期間 ____年__月__日～____年__月__日 <input type="checkbox"/> 申込中 <input type="checkbox"/> 既利用 <input type="checkbox"/> 申込予定 備考()
3	家計相談支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	支援期間 ____年__月__日～____年__月__日 備考()
4	就労準備支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	支援期間 ____年__月__日～____年__月__日 備考()
5	認定就労訓練事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 雇成型 <input type="checkbox"/> 非雇成型 支援期間 ____年__月__日～____年__月__日 備考()
6	自立相談支援事業による就労支援	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

■その他関連する事業等※

メニュー	利用有無	支援方針(期間・実施機関・給付額等)
生活福祉資金等による貸付	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
生活保護受給者等就労自立促進事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

■プランの期間と次回モニタリング(予定)時期

※プラン期間	平成 ____年__月__日まで	次回モニタリング時期	平成 ____年__月
--------	------------------	------------	-------------

■プランに関する本人同意・申込署名欄

〇〇様
私は、 上記のプランに基づく支援について同意します。
 法に基づく事業(上記3, 4, 5)の利用を申し込みます。
平成____年__月__日 本人署名_____ 印_____

<支援調整会議・支援決定>

※支援調整会議開催日	①平成 ____年__月__日 ②平成 ____年__月__日 ③平成 ____年__月__日	※支援決定・確認	<input type="checkbox"/> 支援決定(法に基づく事業(上記3,4,5)) <input type="checkbox"/> 確認(法に基づく事業(上記3,4,5)以外) (決定・確認日:平成 ____年__月__日)
------------	---	----------	---

<備考>

<必要添付書類>

インテーク・アセスメントシート
 その他添付書類(法に基づく事業等の利用にあたって必要とする添付書類)

【5'】プラン兼事業等利用申込書追加確認項目

入力・集計支援ツールにおいて登録が必要な追加項目についてのお願い

- 事業の実施状況把握のため、帳票(プラン兼事業等利用申込書)としては記載の必要はないものの、「入力・集計支援ツール」で入力・登録いただきたい項目が2つ(SQ1,SQ2)あります。いずれも、実態把握のため必要な「月次報告」に反映される項目ですので、もれなく入力・登録をお願いいたします。
- SQ1 は、「当該プラン期間内において、一般就労を目指しているかどうか」を確認するものです。
 - SQ2 は、「このプランを実施するにあたり、関係・関与する人や機関」を選択肢のなかからすべてチェックしていただくものです。

【入力・集計支援ツールのみで登録が必要な項目】

(SQ1)一般就労達成の目標設定状況※ (いずれかにチェック)

プラン期間中の一般就労の達成を目標にしているか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
-------------------------	-----------------------------	------------------------------

(SQ2)プランの実施に係る関係機関・関係者※ (あてはまるものすべてにチェック)

<input type="checkbox"/> 福祉事務所(生活保護担当部署)	<input type="checkbox"/> 地域子育て支援センター・その他子育て支援機関
<input type="checkbox"/> 家庭児童相談室(福祉事務所)	<input type="checkbox"/> 男女共同参画センター・婦人相談所・配偶者暴力相談支援センター
<input type="checkbox"/> 行政の子ども家庭担当部署	<input type="checkbox"/> 家計相談支援機関
<input type="checkbox"/> 行政の高齢担当部署	<input type="checkbox"/> 小口貸付
<input type="checkbox"/> 行政の障害担当部署	<input type="checkbox"/> 権利擁護・成年後見
<input type="checkbox"/> 行政の税担当部署	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会(小口貸付、権利擁護以外)
<input type="checkbox"/> 行政の保険・年金担当部署	<input type="checkbox"/> 法テラス・弁護士(会)・司法書士会
<input type="checkbox"/> その他行政の担当部署	<input type="checkbox"/> 消費生活センター・消費生活相談窓口・多重債務者等相談窓口
<input type="checkbox"/> ハローワーク	<input type="checkbox"/> 警察
<input type="checkbox"/> 職業訓練機関	<input type="checkbox"/> 更生保護施設・自立準備ホーム
<input type="checkbox"/> 就労支援をしている各種の法人・団体(就労訓練事業を含む)	<input type="checkbox"/> 地域生活定着支援センター
<input type="checkbox"/> 医療機関	<input type="checkbox"/> ホームレス支援機関
<input type="checkbox"/> 地域包括支援センター	<input type="checkbox"/> 一時保護施設
<input type="checkbox"/> 居宅介護支援事業所・その他介護事業所	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員
<input type="checkbox"/> 保健所・保健センター・精神保健福祉センター	<input type="checkbox"/> NPO・ボランティア団体
<input type="checkbox"/> 障害者就業・生活支援センター	<input type="checkbox"/> 商店街・商工会等経済団体
<input type="checkbox"/> 障害者就労支援事業所	<input type="checkbox"/> 農業者・農業団体
<input type="checkbox"/> その他障害者支援機関・施設	<input type="checkbox"/> 生活協同組合
<input type="checkbox"/> 児童相談所・児童家庭支援センター	<input type="checkbox"/> 一般企業
<input type="checkbox"/> 学校・教育機関	<input type="checkbox"/> 町内会・自治会、福祉委員、近隣住民
<input type="checkbox"/> 地域若者サポートステーション	<input type="checkbox"/> その他()

【6】評価シート【本人とスタッフが協働で作成→支援調整会議で確認】※必須
 <DB 入力→出力>

評価シート

ID				氏名		
※評価回	<input type="checkbox"/> 初回	<input type="checkbox"/> ()回目	担当者		評価記入日	平成 年 月 日

■目標の達成状況

※目標の達成状況	
※見られた変化	<input type="checkbox"/> 医療機関受診開始 <input type="checkbox"/> 健康状態の改善 <input type="checkbox"/> 障害手帳取得 <input type="checkbox"/> 住まいの確保・安定 <input type="checkbox"/> 生活保護適用 <input type="checkbox"/> 家計の改善 <input type="checkbox"/> 債務の整理 <input type="checkbox"/> 就労収入増加 <input type="checkbox"/> 就労開始(一般就労) <input type="checkbox"/> 就労開始(中間的就労) <input type="checkbox"/> 職場定着 <input type="checkbox"/> 就職活動開始 <input type="checkbox"/> 職業訓練の開始、就学 <input type="checkbox"/> 社会参加機会の増加 <input type="checkbox"/> 生活習慣の改善 <input type="checkbox"/> 対人関係・家族関係の改善 <input type="checkbox"/> 自立意欲の向上・改善 <input type="checkbox"/> 孤立の解消 <input type="checkbox"/> 精神の安定 <input type="checkbox"/> その他()
現在の状況と 残された課題	

■法に基づく事業等の利用実績等

法に基づく事業等	利用有無	通算利用実績	利用の効果／継続利用の必要性等
住居確保給付金	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ヵ月	
一時生活支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	日	
家計相談支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ヵ月	
就労準備支援事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	日	
認定就労訓練事業	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	日	

■プランの終結・継続に関する本人希望・スタッフ意見

本人の希望	<input type="checkbox"/> 終結を希望 <input type="checkbox"/> 継続を希望	スタッフの意見	
-------	--	---------	--

<支援調整会議における評価実施>

※支援調整 会議開催日	平成 年 月 日	※プラン評価	<input type="checkbox"/> 終結 <input type="checkbox"/> 再プランして継続 <input type="checkbox"/> 中断 (決定日:平成 年 月 日)
終結後の対応 ／再プラン時 の留意点			

<必要添付書類>

<input type="checkbox"/> プラン兼事業等利用申込書

4)「課題のまとめと支援の方向性」を導き出すためのポイント

○「課題のまとめと支援の方向性」を導き出すための実践上のポイントを下記に整理する。

「課題のまとめと支援の方向性」を導き出すための実践上のポイント

■援助関係の構築及び本人の主訴と取り巻く状況の正確な把握

自立に向けた本人の取り組みを相談支援員が支えていくにあたって、まずは支援の基盤として、本人と相談支援員との間に信頼関係に裏打ちされた援助関係を築くことが重要である。援助関係の構築は、本人の主訴や本人を取り巻く状況を正確に把握することと深く関係する。そのための実践上のポイントは、次のとおりである。

【実践上のポイント】

- 本人との良好な信頼関係を基礎として、本人の主訴を引き出すことが大切である。
- 言語によって語られることだけでなく、時間や空間を共有し、表情や態度等、非言語の情報も含め、相談支援員が観察したり、感じ取ったことも取り上げていくことが必要となる。
- 本人のこれまでの生活や現在の生活に関わってきた人たち(親族や近隣、関係機関等)からも必要な範囲で情報収集し、多面的に本人を理解していくことが必要となる。
- 社会的に逸脱した行動があったり、本人を取り巻く関係者と本人との認識にズレがある等の場合であっても、本人の側に立って、「なぜそうなるのか」、「本人は今どのような認識でいるのか」という理解に努めることが大切となる。

■本人を主体とした支援に向けた取り組み

自立相談支援機関による支援は、支援者が課題を解決するために取り組むのではなく、本人が主体となって課題に取り組むことを支援するものである。このような方向性での支援を検討するための実践上のポイントは、次のとおりである。

【実践上のポイント】

- 相談支援員は、本人が自分自身や自分の置かれている状況を直視し、理解を深めることができるように支えることが重要となる。
- 本人が、家族・親族や近隣地域等と自分との社会関係に気づき、活用できる社会資源等を含めて自分を取り巻く環境に対する認識を深められるようにする。
- 本人自身が自分の長所や強み(ストレングス)に気づくことができるようにする。
- 課題解決のプロセスにおいては、本人が困りごとに気づき、それを表明し、周囲がその解決に協力することが基本となる。さらには、多様な社会関係のなかで、本人が役割を見出していくということの積み重ねや体験の獲得が重要な意味をもつ。自立相談支援機関の目的は、その後の人生において、本人が周囲との関係を維持しながら、困窮や孤立に陥る前に適切な支えを得ることにより、自立した生活を送ることができるよう支援することにある。

(→次頁へ続く)

(前頁から続き)

■環境への働きかけとネットワークを活かした支援

生活困窮者への支援においては、本人の主体的な取り組みを支援するだけでなく、本人と環境との関係を調整して改善すること、また地域の社会資源等のネットワークを活用した支援とすることが求められる。このような支援を展開に向け、プラン策定時に留意すべき実践上のポイントは、次のとおりである。

【実践上のポイント】

- 本人と家族・親族や近隣地域等との社会関係について、現状を把握するとともに、本人が今後の人生において孤立することなく生活していくことができるよう、相談支援員が媒介する役割を果たしながら、良好な関係形成のプロセスを支える視点を持つ。
- 本人だけでなく、家族が複合的に課題を抱えることも多いことから、家族間の関係性や影響の与え方、課題相互の関連性に留意しつつ、本人への支援とともに家族支援についても視野にしながら、関係機関と連携して家族全体への包括的な支援体制を築いていく。
- 関係機関の特徴や役割を適切に理解したうえで、プランのなかでは、協議を重ね、調整を図りながら、自立相談支援機関だけでなく関係機関がどのような役割を果たし、どのように支援するかを示す。その際、本人を含めた当事者が中心となったプラン策定を関係者間で意識することが重要となる。
- 本人を取り巻く民生委員やボランティア、近隣、ピアサポート等のインフォーマルサポートの担い手たちが、本人をどのように認識しており、本人にどのようにアプローチできるかを想定し、本人との関係を築き、広げていくための具体的な道筋を検討する。